

スーチョワンバーラル「サキ」が死亡しました

金沢動物園で飼育していたスーチョワンバーラル「サキ」が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡したスーチョワンバーラルについて

- (1) 名 前 サキ
- (2) 性 別 メス
- (3) 年 齢 16 才 (平成 13 年 7 月 27 日生まれ)
- (4) 死亡日 平成 30 年 1 月 29 日 (月)
14 時 50 分死亡確認
- (5) 死 因 調査中



スーチョワンバーラルの「サキ」(手前)

2 プロフィールと経過

当園で生まれたサキは、平成 20 年 7 月 22 日に「チャボ」(オス)、平成 29 年 6 月 22 日に「ミカン」(オス) の 2 頭の子を出産し、しっかりと子育てを行いました。当園で最年長となり、最近では前肢の関節が曲がり、歩く様子に力強さがなくなってきていました。

死亡した1月29日(月)まで体調に目立った変化は見られませんでした。14時50分に死亡を確認しました。現在、死因は調査中です。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

金沢動物園 園長 原 久美子 TEL.045-783-9400

【参考資料】

1 スーチョワンバーラルについて

和名	スーチョワンバーラル
学名	<i>Pseudois nayaur szechuanensis</i>
英名	Chinese Bharal
分類	鯨偶蹄目 ウシ科
分布	中国の四川省、陝西省等の山岳地帯
生態	「スーチョワン」とは、生息地の四川省の英語読み。中国名を「岩羊」といい、その名の通り標高3,000m以上の起伏の激しい山岳地帯に生息する。優れた跳躍力とバランス感覚を持ち、危険を察知すると外敵が近づけない高みへと駆け登る。 オスの体長は115～165cm、体重は25～80kg、メスは一回り小さく体重は40kg前後。体色は灰褐色で足に白黒の模様がある。両性とも後方に湾曲し、開いた角をもつ。オスの角は大きく横に張りだしており、成長した角は65～80cmに達する。
国内飼育頭数	3園館32頭（オス15・メス17）※2017年7月5日時点
当園飼育頭数	10頭（オス5頭、メス5頭）※2018年1月30日時点

2 金沢動物園について

- ◆入園料：一般500円、高校生・中人300円、小・中学生200円、小学生未満無料
（毎週土曜日高校生以下無料）
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 10月無休
- ◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場1番でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩6分
②急行「金沢動物園」行きバスで10分（土・日・祝のみ）
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100